

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1209号	氏名	Sandra Ines Juarez Garrido
論文審査担当者		主査教授	平山 謙二
		副査教授	佐藤 浩
		副査教授	由井 克之
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、免疫不全患者の角膜炎を引き起こした微胞子虫の分離培養法を確立しその種を同定しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 微胞子虫類のこれまでの培養法を参考に細胞内寄生する際の宿主細胞株としてマウスの線維芽細胞株を用い、種々の条件を設定し培養法の確立を試みたもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 患者の角膜生検材料より長期に培養可能な微胞子虫株を樹立し、その特徴を形態学的に解析した手法は適切である。温度、ウシ胎仔血清濃度、ホスト細胞株などについての至適な培養条件の解析、およびその結果に基づいての宿主特異性や組織特異性についての考察は妥当である。 これまでその本体が明らかではなかった人体感染性微胞子虫株を確立したことにより新たな診断法や治療薬の開発研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は日和見感染を引き起こす人体感染性微胞子虫類の感染経路や病態発現の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			